

OmniScan SX

スタートガイド

使用目的

OmniScan SX は、工業用途およびメンテナンス用途における材料・製品などの非破壊検査を目的として設計されています。決して、OmniScan SX をこれらの使用目的以外で使用しないでください。

取扱説明書

本スタートガイドおよび OmniScan SX ユーザーズマニュアル、OmniScan MXU ソフトウェアユーザーズマニュアルには、本製品を安全かつ効果的に使用するために必要不可欠な情報が記載されています。使用に先立ち、本スタートガイドおよびユーザーズマニュアルの内容を十分に理解し、その指示に従って使用してください。本スタートガイドおよびユーザーズマニュアルは、本製品の使用にあたり、すぐに読める場所に保管してください。本スタートガイドおよびユーザーズマニュアルの内容について、不明な点または疑問点がある場合には、お買い上げになった販売店または当社支店にお問い合わせください。

なお、OmniScan SX ユーザーズマニュアルおよび OmniScan MXU ソフトウェアユーザーズマニュアルの PDF 版は、EvidentScientific.com からダウンロードすることができます。

安全性に関する警告表示



危険

この記号は、正しく実行または守られなければ死亡あるいは人体に深刻な損傷を負わせる切迫した危険な状況をもたらす可能性がある手順や手続きであることを示しています。



警告

この記号は、正しく実行または守られなければ死亡あるいは人体に深刻な損傷を負わせる可能性がある手順や手続きであることを示しています。

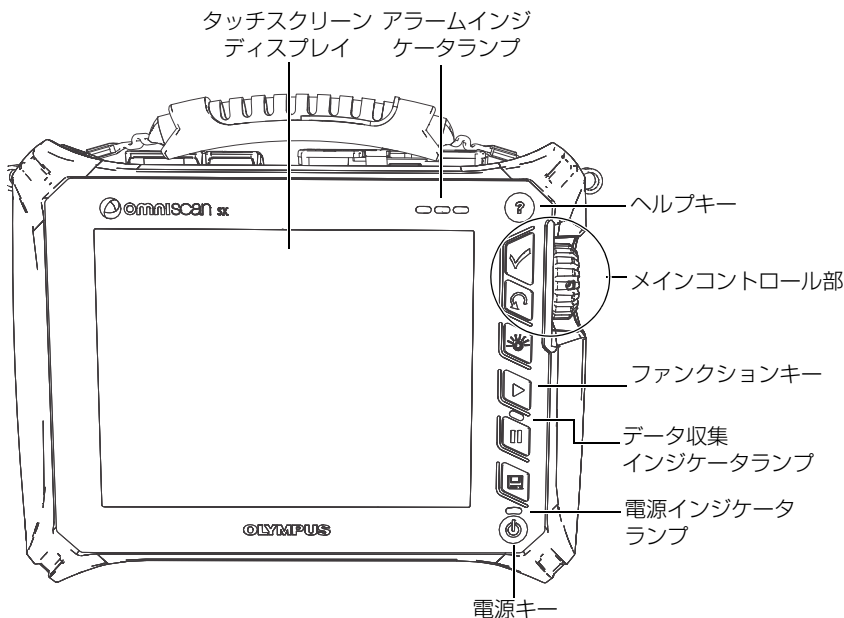


注意

この記号は、正しく実行または守られなければ中程度以下の障害、特に機器の一部あるいは全体の破損、あるいはデータの喪失につながる可能性のある手順や手続きなどに注意する必要があることを表しています。

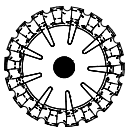


フロントパネル

OmniScan SX のフロントパネルには、全てのメインコントロールとインジケータがあります。フロントパネルは、タッチスクリーンディスプレイ、メインコントロール部、ファンクションキー、電源キー、ヘルプキー、インジケータランプの 6 つの部分から構成されています。



メインコントロール部

OmniScan SX は、メインコントロール部だけで制御することができます。

構成部	名称	内容
	スクロールノブ	キーボード、マウス、タッチスクリーンを使用せずに、選択操作を行うことができます。スクロールノブを時計周りに回転させると選択ボタンを左方向（横に並んだリスト）や上方向（縦に並んだリスト）に移動することができます。
	承認キー	選択内容を確定します。
	キャンセルキー	現在の選択をキャンセル、あるいはメニューツリーを 1 段階戻ることができます。

OmniScan SX の起動およびシャットダウン

OmniScan SX を起動するには

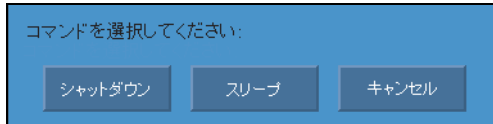
- ◆ 電源キーを1秒間押します。

システムが起動し、メモリーチェックを行います。

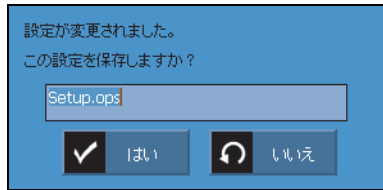
起動中にシステムに問題があった場合は、電源インジケータランプはカラーコードで問題の種類を特定します。詳しい内容については、OmniScan SX ユーザーズマニュアルを参照してください。

OmniScan SX をシャットダウンするには

1. 電源キーを軽く押します。
「コマンドを選択してください」というメッセージが現れます。



2. シャットダウンを選択します。
設定の保存を確認するメッセージが現れます。



3. 設定を保存する場合は、はいを選択します。

参考

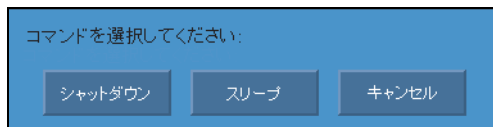
電源キーを10秒間押し続けることによって、OmniScan SX の電源をオフすることができます。ただし、この場合設定は保存されません。

スリープモード

OmniScan SX には、装置を使用していない間の消費電力を節約するスリープモード機能があります。

スリープモード機能を使用するには

1. OmniScan SX が電源オンの状態で、電源キーを押します。
「コマンドを選択してください」というメッセージが現れます。

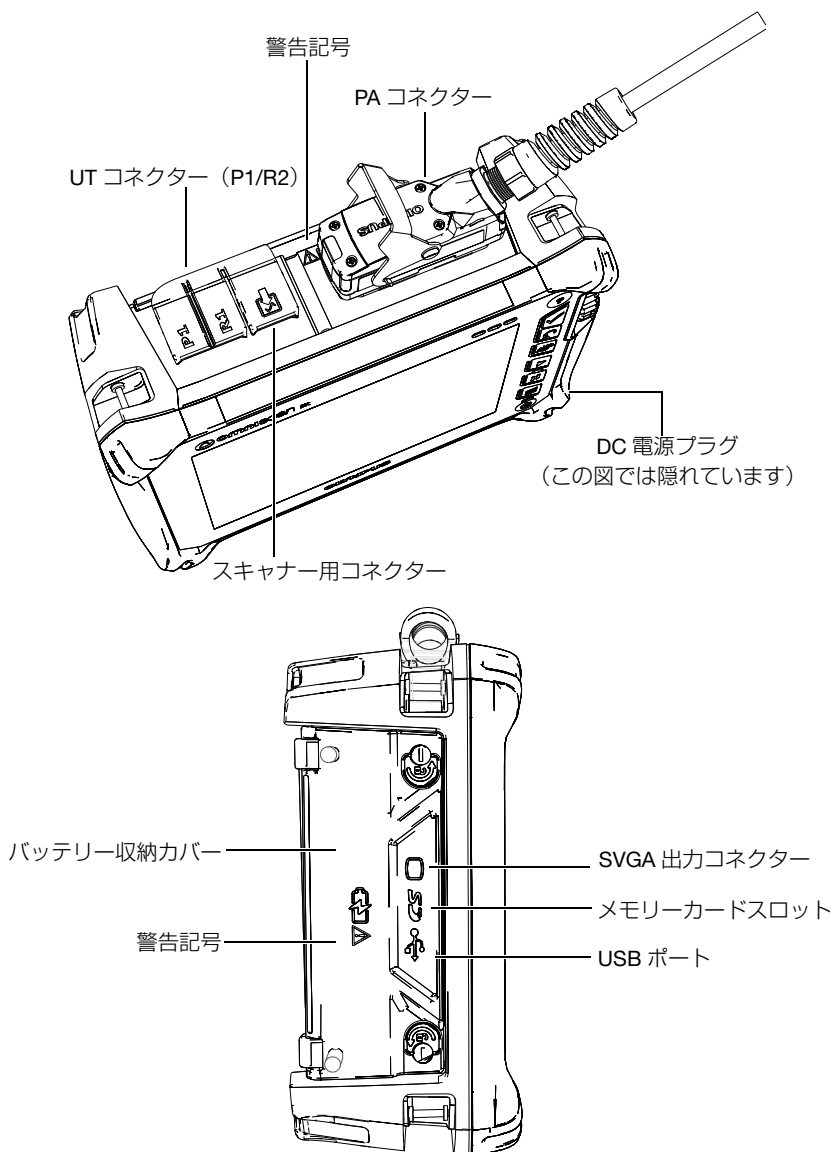


2. スリープを選択します。
3. スリープモードを無効にするには、軽く電源キーを押します。
OmniScan SX は、前回使用した状態（探傷モードまたは解析モード）に戻ります。



危険

感電を防ぐため、決してコネクタの内部導体に触れないでください。UT コネクタの内部導体には最大 340V の電圧が、また、PA コネクタの内部導体には最大 115V の電圧がかかることがあるため、感電する恐れがあります。PA コネクタおよび UT コネクタの近くにある警告記号は、感電の危険性について注意を促しています。



バッテリー使用上の警告

バッテリー収納カバーにある警告記号は、バッテリーに関する事前注意を促しています。バッテリー使用に関する次の警告を注意してよく読み、必ずこれらの警告に従ってください。



警告

- OmniScan SX シリーズ向けに指定されていないバッテリーを絶対に使用しないでください。
- バッテリーを分解、圧壊、貫通しないでください。事故の原因となる恐れがあります。
- バッテリーを焼却しないでください。火気あるいは極度の熱気を避けてください。バッテリーが極度の熱気に触れると爆発につながる恐れがあります。
- 落下したり、打撃を与えたり、誤用のないようにしてください。バッテリー内部が露出してしまい、腐食や爆発の原因となります。
- バッテリーの端子をショートさせないでください。ショートは、バッテリーに深刻な損傷を与え、使用できなくなる原因となる可能性があります。
- バッテリーを湿気または水滴にさらさないようにしてください。感電の原因となる可能性があります。
- バッテリー充電の際には、OmniScan SX または Evident が認定したチャージャーのみを使用してください。
- バッテリーの容量チェックボタンが押されており、インジケータランプが点灯していない場合には、バッテリーを充電しないでください。危険を伴う場合があります。
- バッテリー残量が、40% 以下のバッテリーを保管しないでください。バッテリーを保管する前に、40% ~ 80% のバッテリー容量に充電してください。
- また、保管中は、バッテリー容量を常に 40% ~ 80% に保持してください。
- バッテリーを入れたまま OmniScan SX を保管しないでください。

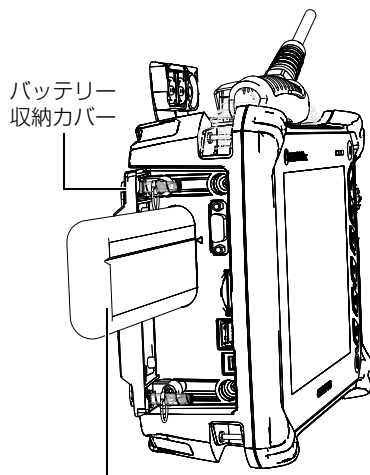
参考

使用済みの本製品のバッテリーは地域の規定に従い適切に処理してください。

バッテリーの交換

リチウムイオンバッテリーを交換するには

1. 右側パネルでクォーターターンラッチを廻し、バッテリー収納カバーを開きます。
2. ストラップを引っ張り、バッテリーを取り外します。
3. 新しいバッテリーを挿入します。バッテリーの溝が、バッテリー収納部の凸部に合っているか確認します。
4. バッテリー収納カバーを閉めます。



リチウムイオンバッテリー
(P/N: OMNI-A-BATT2 [U8760059])

バッテリーの充電



警告

OmniScan SX のバッテリー (P/N: OMNI-A-BATT2 [U8760059]) は専用の AC チャージャーアダプター (P/N: OMNI-A-AC [U8767093]) で充電してください。他のバッテリーの充電やその他のチャージャー / アダプターによるバッテリーの充電は死亡や深刻な損傷につながる爆発の原因となる恐れがあります。絶対に行わないでください。

バッテリーの充電

- ◆ OmniScan SX を AC チャージャーアダプターに接続します。

バッテリーの充電は、次の手順で開始します。

- OmniScan SX の電源がオフの場合：
 - AC チャージャーアダプターを介して AC 電源に接続されていて、OmniScan SX の電源がオフの時は、自動的にバッテリーの充電を開始します。インジケータランプがオレンジ色に点滅し、バッテリーの充電中であることを示します。充電が完了すると電源インジケータランプは、点滅から点灯に変わります。バッテリーが完全に放電された状態 (電池残量 5% 以下) からの充電には、約 3 時間かかります。
- OmniScan SX が作動中の場合：
 - AC チャージャーアダプターを介して AC 電源に接続されていて、OmniScan SX が動作中の時は、自動的にバッテリーへの充電を開始します。この時のバッテリーのインジケータランプは緑色です。
ただし、OmniScan SX が動作中のため、充電時間が長くなります。バッテリーが完全に放電された状態からの充電には 8 時間以上かかります。

参考

バッテリーの状態に関する詳しい情報は、OmniScan SX ユーザーズマニュアルを参照してください。





バッテリーステータスインジケータ

OmniScan SX 動作中の時は、バッテリーの状態をタッチスクリーン画面の左上のインジケータで確認できます。このインジケータは、下の 2 種類のいずれかでバッテリーの残量を表示します。

- 稼働可能時間は、バッテリーステータスインジケータの中に表示されます。この情報は、OmniScan SX が約 15 分ほど稼働した後に正確に表示されるようになります。
- バッテリーステータスインジケータの中にある充電インジケータ（バー）により、おおよそのバッテリー残量を知らせます。

装置を動作させることができないほどバッテリーの残量が少なくなると、OmniScan SX が起動された時に、インジケータランプが約 3 秒間すばやく赤色で点滅します。この場合、OmniScan SX を引き続き使用するためには、バッテリーを取り替えるか、AC チャージャーアダプターから電源を供給してください。

OmniScan SX ソフトウェアでは、バッテリーの状態を確認することができます。次の表で、バッテリーステータスインジケータを説明します。

インジケータ	縁取り	中の色	意味
	点線	なし	バッテリー収納部にバッテリーがありません。
	青色	青色	バッテリーは正常に機能しています。
	黄色 (点滅)	青色	バッテリーは充電中です。
	赤色 (点滅)	青色	バッテリー残量が非常に少なくなっています (10% 未満)。ピーブ音を発生します。
	なし	黄色	OmniScan SX は、AC チャージャーアダプター 経由で外部から電源が供給されています。

参考

その他のステータスインジケータは、OmniScan SX ユーザーズマニュアルを参照ください。

バッテリーを同梱して製品を送送する場合の規則

リチウムイオンバッテリーは、梱包方法、適切な輸送方法等が国連の危険物輸送勧告（国連勧告）に基づき国際航空運送協会（IATA）、国土交通省等が規制を設けています。リチウムイオンバッテリーを輸送する場合は、これらの規制を満足しなければなりません。規制を満足する輸送条件等は、事前にお取引の輸送会社などにご確認するようお願いします。

廃棄について

本製品の廃棄の際は、地方自治体の条例または規則を確認されて、それに従ってください。ご不明な点は、お買い上げになった販売店または当社支店にお問い合わせください。

一般的な注意事項について

本製品を取り扱う際は、以下の注意事項を厳守してください。

- 記載されている以外の方法で使用された場合、安全を保証することができません。
- その他の警告、注意等については、OmniScan SX ユーザマニュアルに従ってください。



警告

- バッテリー装着部や、入力電源コネクタ、データポートには、金属片や、水などの液体を入れないでください。万一、機器内部に入った場合は、接続されているバッテリーや AC アダプタを取り外し、直ちにお買い上げになった販売店または当社支店にご連絡ください。
- 各コネクタ端子には直接手を触れないでください。故障し、感電事故を起こすおそれがあります。
- 発煙、異臭、異音など異常を感じた場合、機器が動作可能であっても、直ちに使用を中止し、その後電源を投入しないでください。
- 電源コードは当社製品付属のものを必ずご使用ください。
- 電源コード、AC アダプタは電気用品安全法に適合した日本仕様です。

仕様

項目	仕様
使用環境	屋内または屋外使用可、ただし屋外使用はバッテリー駆動にて可能 温度：-10℃～45℃ 湿度：最大70%（結露なきこと）、高度2000mまで 汚染度2、設置カテゴリ（過電圧カテゴリ）II
保護等級	IP66
質量	3.4Kg（バッテリー搭載時）
電源	着脱可能リチウムイオンバッテリー（OMNI-A-BATT2）または AC アダプター電源
バッテリー寿命	通常の使用条件にて6時間以上（使用条件による）
ACアダプター	入力：100-220VAC、50-60Hz、出力18VDC、3.9A 最大70W
ディスプレイ	LCD カラータッチスクリーン、画素数：800 × 600
保存温度	-20℃～60℃（バッテリー搭載時） -20℃～70℃（バッテリー非搭載時）
バッテリー保存温度	-20℃～60℃、湿度80%時

EVIDENT CANADA, 3415, Rue Pierre-Ardouin, Québec (QC) G1P 0B3 Canada
EvidentScientific.com

Printed in Canada • © 2022 年 by Evident. All rights reserved. 無断複写・複製・転載を禁じます。
本書に記載されている社名、製品名等は、各所有者の商標または登録商標です。



製品 ID: U8778638



50% 再生繊維を含む Rolland
Hitech50 を使用して印刷して
います。

DMTA-20044-01JA
B 版、2022 年 9 月

